

# がじゅまる

第13号

伊是名小学校

十二月一日(金)児童集会がありました。保健委員会の皆さんが世界エイズデーについてスクリーンをつかってわかりやすく説明しました。後半ではO×クイズでエイズに関するクイズを出し、理解が深まりました。この日学校では児童・職員全員がレッドリボンをつけました。



世界エイズデー(World AIDS Day: 十二月一日)は、世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO(世界保健機関)が一九八八年に制定したもので、毎年十二月一日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。

レッドリボン(赤いリボン)は、もともとヨーロッパに古くから伝承される風習のひとつで、病気や事故で人生を全うできなかった人々への追悼の気持ちを表すものでした。

この“レッドリボン”がエイズのために使われ始めたのは、アメリカでエイズが社会的な問題となってきた一九八〇年代の終わりのころでした。このころ、演劇や音楽などで活動するニューヨークのアーティスト達にもエイズがひろがり、エイズに倒れて死亡するアーティスト達が増えていきました。そうした仲間達に対する追悼の気持ちに苦しむ人々への理解と支援の意思を示すため、“赤いリボン”をシンボルにした運動が始まりました。



**保健委員**

